

■野口幽香 教育家, 社会事業家。貧児のために〔二葉幼稚園〕を開設, 幼児教育・託児所・セツルメント活動を先駆。

のぐちゆか

薩長同盟・・1866＝ 播磨国飾東郡姫路清水(兵庫県姫路市)で, 下級武士の第2子長女に生まれる。本名ゆか。母は儒者の娘。

明治維新・・1868＝ 2歳:

廃藩置県・・1871＝ 5歳: 姫路の総社の寺子屋に通い始めるが, 旧態依然のままを憂慮した両親の配慮で, クリスマンになっていた田島藍水の塾に移り, 漢学や英語の初歩を学ぶ一方, 内職で写本をしていた父が福沢諭吉に心酔していたため, 諭吉の多くの著作に触れる機会を持ち,

明治6年政変 1873＝ 7歳: 姫路に開校されたばかりの小学校に入学,

佐賀の乱・・1874＝ 8歳: 父が生野銀山の寮に職を得て, 生野口銀屋校に転校し, 銀山に技術指導に来ていた外国人一家と親交,

初の民間工場1875＝ 9歳: 父が生野銀山寮を辞して兵庫県学区取締となったことから, 姫路に戻り, 教員伝習所付属小学校に転校,

大久保暗殺・1878＝12歳: 進歩的な父の勧めで, 男子校の姫路中学校に入学したが, 孤立したため,

琉球処分・・1879＝13歳: 優等賞を受けて中退し, 裁縫塾野尻芳春のもとで, 厳しい修業するうち,

明治14年政変1881＝15歳: 父の明石転勤に従って移住, 花嫁修業するも, 「米欧回覧実記」などを読んで, 海外への関心が高まり,

新体詩抄・・1882＝16歳: さらに, 父が兵庫県学務課専務となって, 神戸に移住。父から御茶ノ水(東京女子師範学校)から赴任してきた教師の立派さを聞かされると, 進学を熱望し願ひ出る。

秩父事件・・1884＝18歳:

内閣発足・・1885＝19歳: すでに進んでいた縁談が破談になって, 兵庫県庁の受験資格試験に臨むことができ, 県で唯一人合格して, 父に連れられ上京, 本試験にも合格し, 東京師範学校女子部に入学。

帝国大学始・1886＝20歳: 支えてくれた父が肺炎で急逝し,

初の対等条約1888＝22歳: 母も死去して精神的打撃を受け,

帝国憲法発布1889＝23歳: 級友塚本ハマの勧めにより本郷森川町の講義所で受洗。教会で出会った村上直次郎と相思相愛となる。

帝国議会始・1890＝24歳: 安井てつにつぐ2番で, 女子高等師範学校第一回卒業生となり, 直ちに妹を引取り, 続いて同校附属幼稚園助教諭に任命されると, 直次郎との結婚が拒否された悲しみを幼児教育への情熱に転化すべく専心。

郡司千島探検1893＝27歳:

日清戦争始・1894＝28歳: 華族女学校附属幼稚園の開校とともにこれに転じるが, 学校の上流家庭の恵まれた子らと, 通勤途上で見かける貧しい子らとの落差を見かねて, 華族女学校の助教諭をつとめるかたわら,

子規句歌革新1898＝32歳: 同僚の森島峰(桑島みね子)と四谷のスラム街に幼稚園設立を決意し,

一番町教会の宣教師ミス=デントンに協力を求め, 音楽会を開催してかなりの純益を得ると,

ピアノ国産化・1900＝34歳: *麹町下六番町に借家して開設。さらに, 広く寄付を集めるべく「主意書」を書き, 定期的な寄付を得ること

になって, 私立二葉幼稚園として確立。

文部省から外国留学生の任命を受けたが, 持病の子宮筋腫の手術に失敗して, 入院生活に入り断念。

教科書疑獄・1902＝36歳:

のち御料地を借りて規模を拡げるが, これがわが国常設託児所のさきがけとなる。

日露戦争終・1905＝39歳: 華族女学校(のち学習院)教授,

満鉄発足・・1906＝40歳: *三大貧民窟といわれた四谷鮫ヶ橋に保育の場を移転し, 本格的な貧民幼稚園を始める。

韓国反日暴動1907＝41歳: 幼稚園主事となる。この年, 徳永恕が保母手伝いで入園。

韓国併合・・1910＝44歳: 保母たちのために聖書研究会を開く。

大逆事件判決1911＝45歳: 四谷に移転した二葉幼稚園でキリスト教の小集会も開き, (のち二葉独立教会に発展)

明治天皇没・1912＝46歳:

大正政変・・1913＝47歳: 徳永恕とともに, 東京中のスラム街を巡視, 貧民救済の必要性を強く感じ, 世間に訴え募金を集め, 新宿分園を開設し, 母の家(母子寮・母子ホームの原型)も併設,

民本主義・・1916＝50歳: (二葉保育園)と改称,

大暴落・・・1920＝54歳:

原敬首相暗殺1921＝55歳: 深川分園を開く。

水平社結成・1922＝56歳: *華族女学校付属幼稚園教授を退職し, 二葉保育園の専任園長となる。

勉強する部屋のない小学生のために図書室を開き, 工場で働く少女のために夜間裁縫部をつくるなど, セツルメント活動の先駆者として大きな足跡を残した。

世界恐慌・・1929＝63歳:

満州事変・・1931＝65歳: この年まで, 二葉保育園の園長をつとめた。

一貫して幼児教育の開拓にあたり,

芥川直木賞始1935＝69歳: *後任の徳永恕に譲って引退。

日中戦争始・1937＝71歳:

健保+総動員 1938＝72歳:

登山を愛し, また文学・芸術などに関心が深く, 有島武郎と往来し, 清元を聴き, 高山植物を愛し, ロウケツ染めをするなど心豊かな毎日を過した。

日米開戦・・1941＝75歳:

皇后から招かれて, 宮中で修養講和の御進講を始め, 終戦前まで続く。

敗戦・・・1945＝79歳: 敗戦後は, 戦災孤児収容に尽力し,

二葉独立教会が東中野教会となるまで, 信徒総代として貢献。

新憲法施行・1947＝81歳:

三大事件・・1949＝83歳: (二葉保育園)本園に乳児部保育部母子寮を再開させ,

朝鮮戦争始・1950＝84歳: 生涯独身のまま, 上落合の幽香庵で, 没した。

「目でみる日本人物百科」, 「日本の女性」, インターネット,